

講座「生きること」開催記録 2018 年度～2022 年度

開催年度	講師	テーマ
2018	新居 真理 (バクバクの会～人工呼吸器とともに生きる～関西支部幹事)	人工呼吸器があってもみんなと一緒に！ ～支援者と地域で暮らす
	児島 一平 (NPO みんなの未来かいたく団代表理事)	ひきこもりだった。でも、だからこそ感じられたことやできたことがあった。
	黄 光男 (ハンセン病家族訴訟原告団副団長)	閉じ込められた命～私の母はハンセン病でした
	菅本 香菜 (株CAMPFIRE FOOD・LOCAL 担当)	食べることは、生きること～拒食症だった私が、旅するおむすび屋を始めた理由
2019	武田 秀司 (福島市立平野中学校教諭)	福島の子どもたちと教育現場の今～差別や偏見から負けない強い心を育てるために
	井上 鈴佳 (レズビアン保健室の先生)	あなたの身近にもいる LGBT～男女や LGBT だけじゃない！性のあり方は十人十色
	広野 ゆい (NPO 法人 DDAC(発達障害をもつ大人の会) 代表)	発達障害と生きる～当事者からのメッセージ
	永野 三智 (一般財団法人水俣病センター相思社常務理事)	水俣をとおして社会とつながる
2020	谷岡 哲次 (認定 NPO 法人レット症候群支援機構 代表理事)	娘が不治の難病と診断されました。～「レット症候群」をご存じですか
	大矢 和枝 (東大阪市在住)	米軍人の父とウチナーンチュの母の子として生まれて～人との出会いの中で沖縄と向き合えるように
	金 秀煥 (南山城同胞生活相談センター代表)	在日 3 世としてウトロに関わって～そこから見えた人権と日本社会
	牧 秀一 (NPO 法人阪神淡路大震災よろず相談室 前理事長)	人は人によって救われる～25 年間の震災ボランティア活動から
2021	常石勝義 (元 JRA (日本中央競馬会) 騎手)	もう一度、大好きな馬と夢を掴みたい～高次脳機能障害を乗り越えて
	牛島貞満 (元東京都公立小学校教員)	牛島満と沖縄戦～国内での最大で最後の地上戦から学ぶこと
	玉井 浩 (大阪医科薬科大学小児高次脳機能研究所長)	命の選別への警鐘～出生前遺伝学的検査と胎児の人権
	柳谷 和美 (おやこひろば桜梅桃李 代表)	トラウマとともに、自分らしい生き方を見つけるまで～サバイバーが語る性暴力・DV・虐待

2022	坪倉 優介 (ゆうすけ工房 草木染作家)	記憶を失うとどうなるのか？ ～交通事故にあい脳の中まで出血する～
	白石 由美 (市立ひらかた病院副院長兼看護局長兼医療相談・連携顧問)	新型コロナウイルス禍の中で 「生きること」を考える
	清田 悠代 (NPO法人しぶたね理事長)	重い病気のある「きょうだい」がいるということ ～自身の体験と、きょうだい支援の活動から～
	安野 輝子 (大阪空襲訴訟を伝える会)	生えてこなかった足 ～空襲体験記とその後のこと～